

福祉発展の功績をたたえて

2月8日（土）、町の社会福祉発展に功績のあった方々を表彰する鶴田町社会福祉大会が町保健福祉センター「鶴遊館」で開催されました。

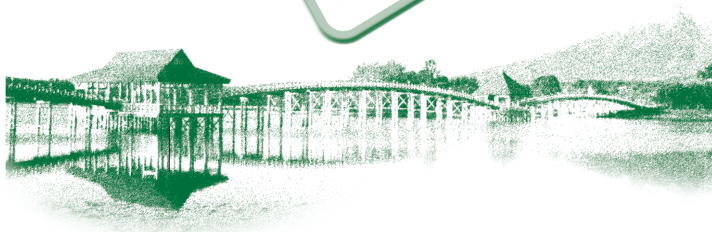
大会には受賞者、大会関係者約200人が出席。町の社会福祉に寄与された個人、団体に対し、顕彰状や感謝状が贈られたほか、「平成25年度中央共同募金会会長表彰」の伝達、今年度実施された町社協主催の福祉作文コンクールの入選者の皆さんが表彰されました。

受賞者を代表して神保弘さん（桜町）は「今回の受賞は地域住民の皆さん、各団体の皆さんのおかげ。これからも人の役に立つことをしていきたい」と謝辞を述べました。

式典後は、県総合検診センター人間ドックセンター長の松川昌勝医師が健康と福祉について講演を行いました。



△出席された竹浪正造さん（寺町）には顕彰状が贈られました



あなたの地区の楽しい催しや出来事などを役場総務課まちづくり班までどしどしお知らせください。（22-2111 内線264）

これからも力強く前向きに

2月11日（火）、国際交流会館ホールで、県内では1市2町（黒石市、東北町、鶴田町）の開催となる「第22回実年式」が開催され、今年還暦を迎える町民と町出身者87人が出席しました。

式では、厄払いと健康長寿の祈願が執り行われた後、釧路市丹頂鶴自然公園の高橋良治名誉園長が「タンチョウの子育て」について講演を行いました。

続いて行われた式典では、中野町長が「皆さまは社会のため、家族のために力強く生き抜き、懸命の努力をされてこられた」と式辞。また、今年還暦を迎え、来賓として出席された相川正光県議会議員からは「還暦は一回りして生まれ変わること。前向きな気持ちと生きがいを持って生きましょう」と祝辞が述べられました。



△出席者全員で町民憲章と「鶴の里健康長寿の町宣言」を唱和

水 害 農 家 を 応 援

2月12日（水）、鶴田町水害農家応援隊（佐藤貴郁会長）が中野町長を訪れ、昨年9月16日の台風18号による岩木川増水で浸水の被害を受けたリンゴ農家を応援するために集めた見舞金を手渡しました。

町の若手農業後継者団体「みどりの会」のメンバーが中心となって活動する同隊は、町で浸水の被害を受けたリンゴを集めて販売する「生きのこりんご」を企画。インターネットや口コミなどにより、今年度、県内外へ約150箱のリンゴを販売しました。

中野町長は「みどりの会の皆さんが中心となり、（被害に遭った）りんごに着目してこのようなことを行っているのはすばらしい」とあいさつ。同隊の佐藤会長は「今回の活動で町に助け合いの精神が根付いてくれたらうれしいです」と話していました。



△中野町長に見舞金を手渡す佐藤会長（中央左）と応援隊の皆さん



△1人が6人と吸盤綱引きを競い合う「1対6の対戦」

世 を 明 る く す る ハ ゲ 頭

2月22日（土）、山田温泉でツル多はげます会の例会「新春の^{うたけ}有多毛」が開催されました。

例会には町内外から15人が参加。冒頭で工藤幸三副会長が「ハゲをプラスのイメージに変えて、県内外にPRし、大いに盛り上げていきたい」とあいさつ。同席した中野町長から「ハゲ頭が世の中を明るくするようにご活躍を願っています」とお祝いの言葉が贈られたあと、同会札幌支部創設者の小嶋章夫さんに感謝状が贈られました。

後半には、誰の頭かを当てる「光当てクイズ」や頭にひもが付いた吸盤を付ける「吸盤綱引き」などが行われました。また、今回の例会では同会の新会長に当町の須郷貞次郎さんが選任されました。

け っ ぱ れ!! 津 軽 ジャ ニ ー ズ

2月23日（日）、町内外の21～23歳の野球経験者で構成される社会人野球チーム「津軽ジャニーズ」の選手の皆さんが今年5月に岐阜県で開催される東日本軟式野球大会2部全国大会の出場報告のため、中野町長を訪問しました。

結成4年目となる同チームは昨年、「県大会優勝」を目標に掲げ、チーム一丸となって練習に励んだ結果、同年10月5日に黒石市で行われた県大会で優勝し、全国大会出場を決めることができました。

報告会では全国大会出場に向けた意気込みが発表され、選手の伊藤康太さんは「津軽の魂をぶつけて頑張ります」と宣言。チーム後援会の山田松男さんは「勝利を目指すために皆さんの応援をお願いします」と話していました。



△チーム一丸となって精一杯戦ってくることを誓いました